

インストール して、起動する

デスクトップ版は、インストーラを入れるだけで使えます。
Java・データベース・ffmpeg は同梱しているので、ほかに
入れるものはありません。

GRAPHY-Next は、Microsoft・Apple の有料の署名をまだ受
けていません。そのため Windows と Mac では、初回だけ
警告が出ます。このガイドの手順どおりに進めれば開けま
す。

Windows

macOS

Linux

OS ごとのファイル（GitHub の Releases か ら入手）

WIN GRAPHY-Next.Setup.<版>.exe

開いて入れる。初回は SmartScreen の警告が出ます
(2～4 ページ)

MAC GRAPHY-Next-<版>-arm64.dmg

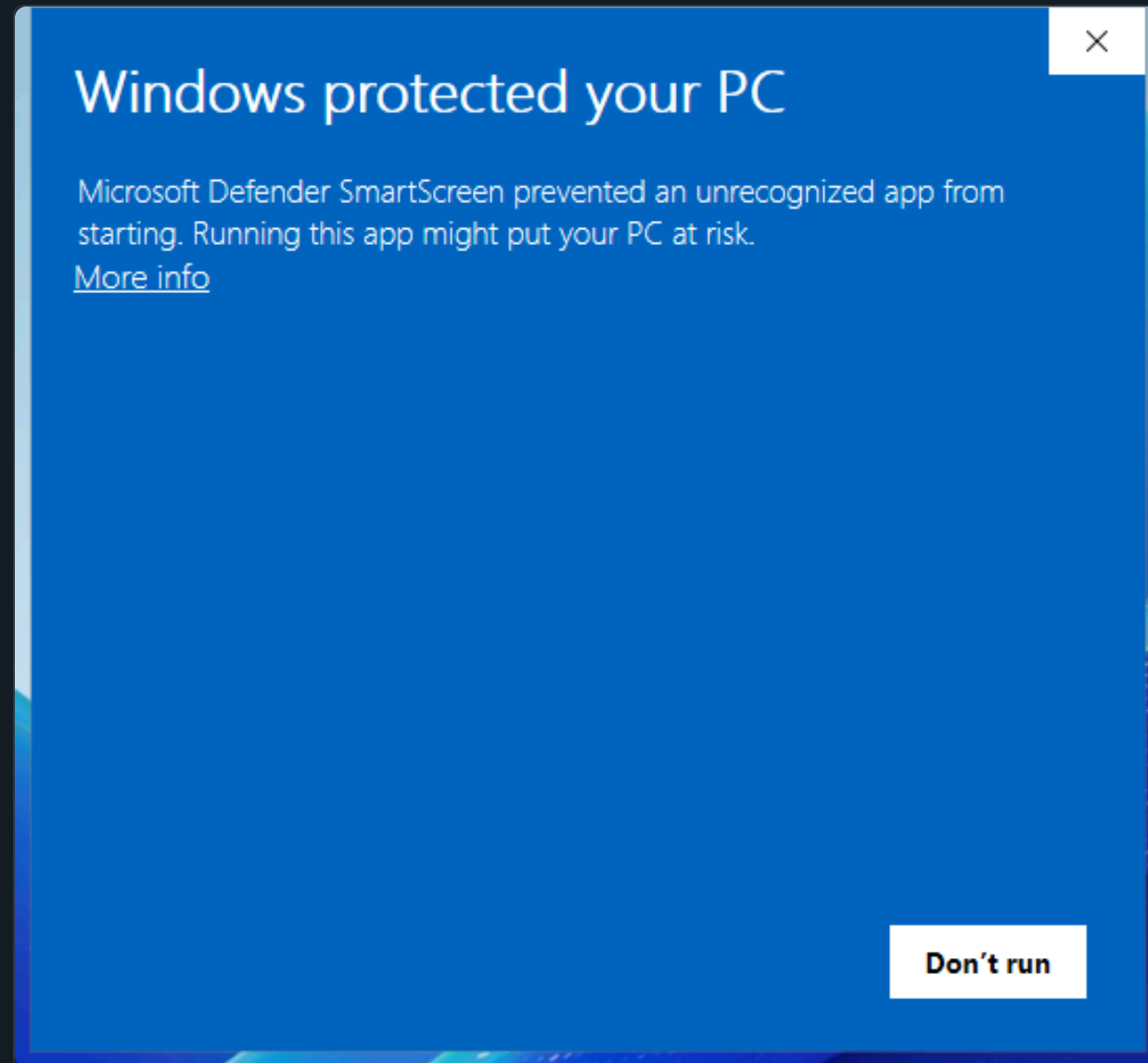
Apple シリコンの Mac 用。初回は「開いていません」
と出ます (5～7 ページ)

LNx graphy-next-desktop-<版>-amd64.deb

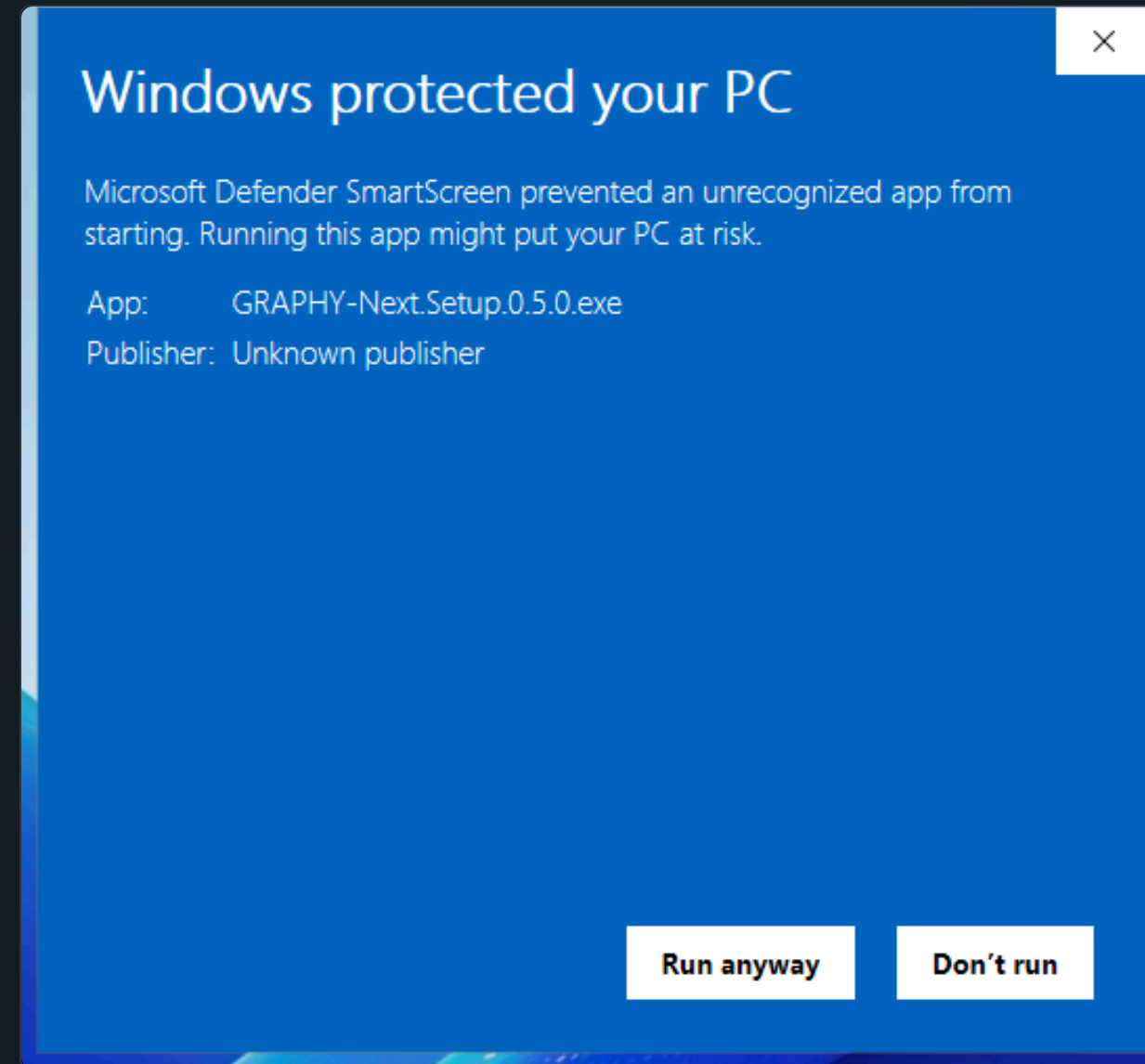
Ubuntu / Debian 用。apt で入れます (8 ページ)

入手先: github.com/tatsunidas/GRAPHY-Next/releases

「Windows によって PC が保護されました」 と出たら



1 インストーラを開くと出ます。**詳細情報** (More info) を押します

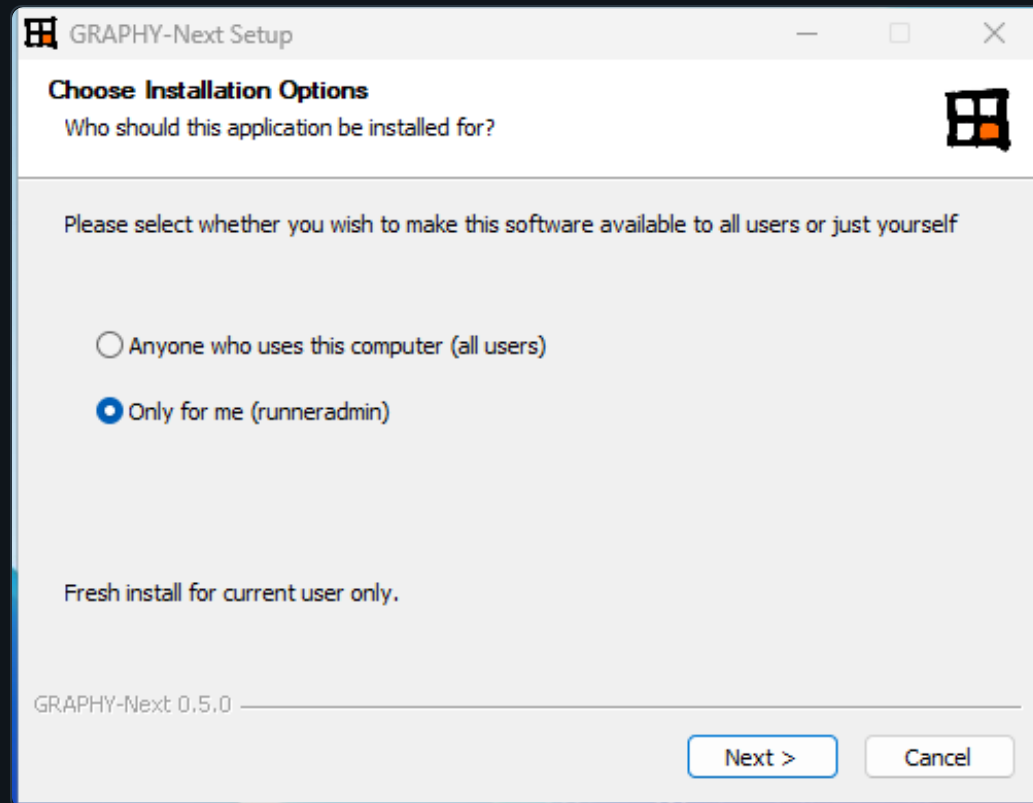


2 発行元が「不明」と表示されます。**実行** (Run anyway) を押します

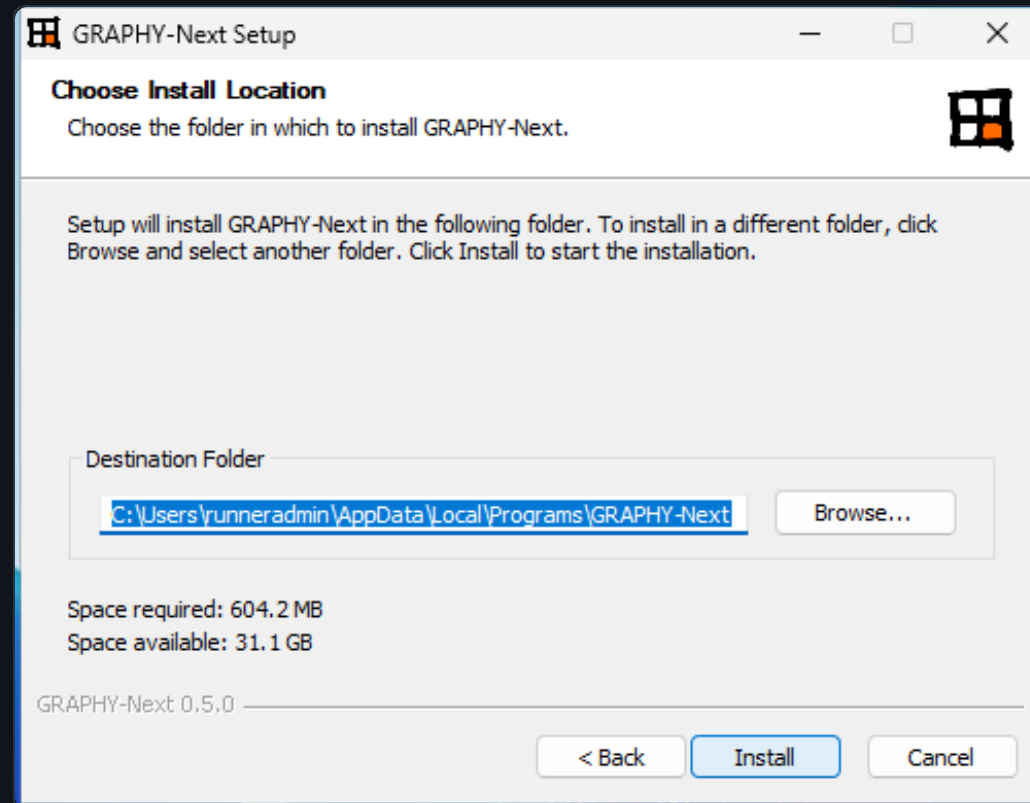
この警告は、署名の無いインストーラをインターネットから落として開いたときに出了。

画面は英語版の Windows で撮っています。日本語版では、括弧の外の表記になります。

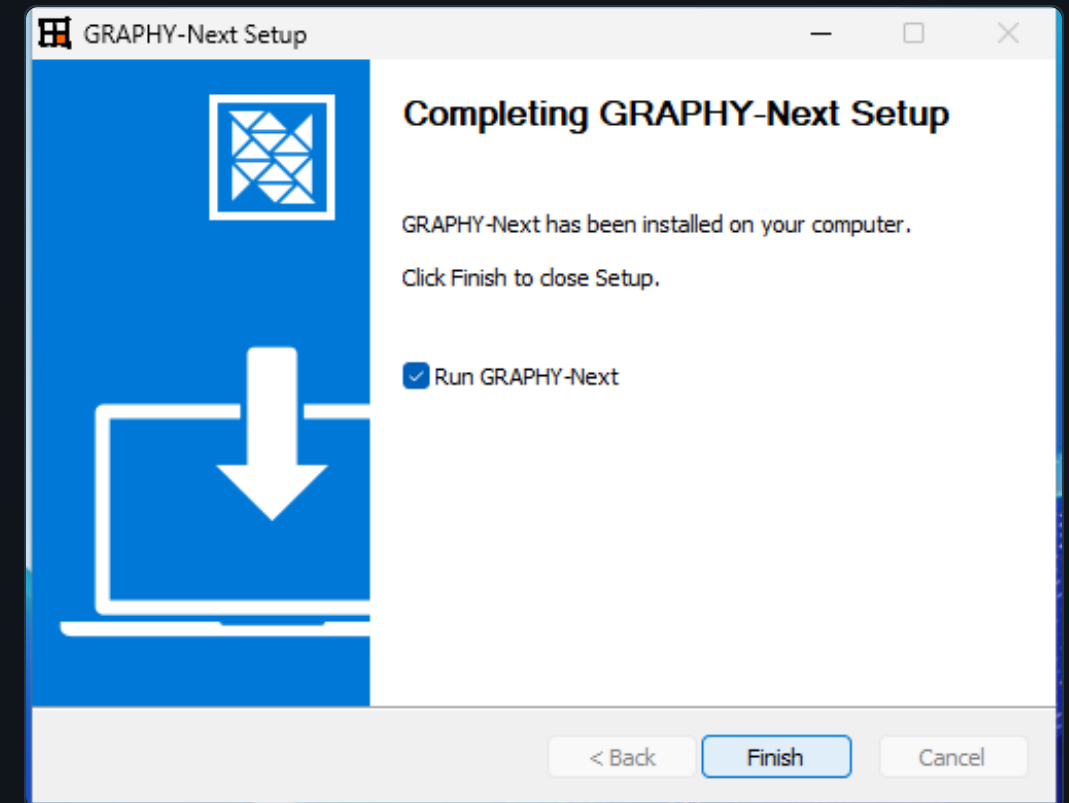
範囲と場所を選んで、インストールする



3 入れる範囲を選び、**次へ** (Next)。「自分だけ」なら管理者の権限は要りません

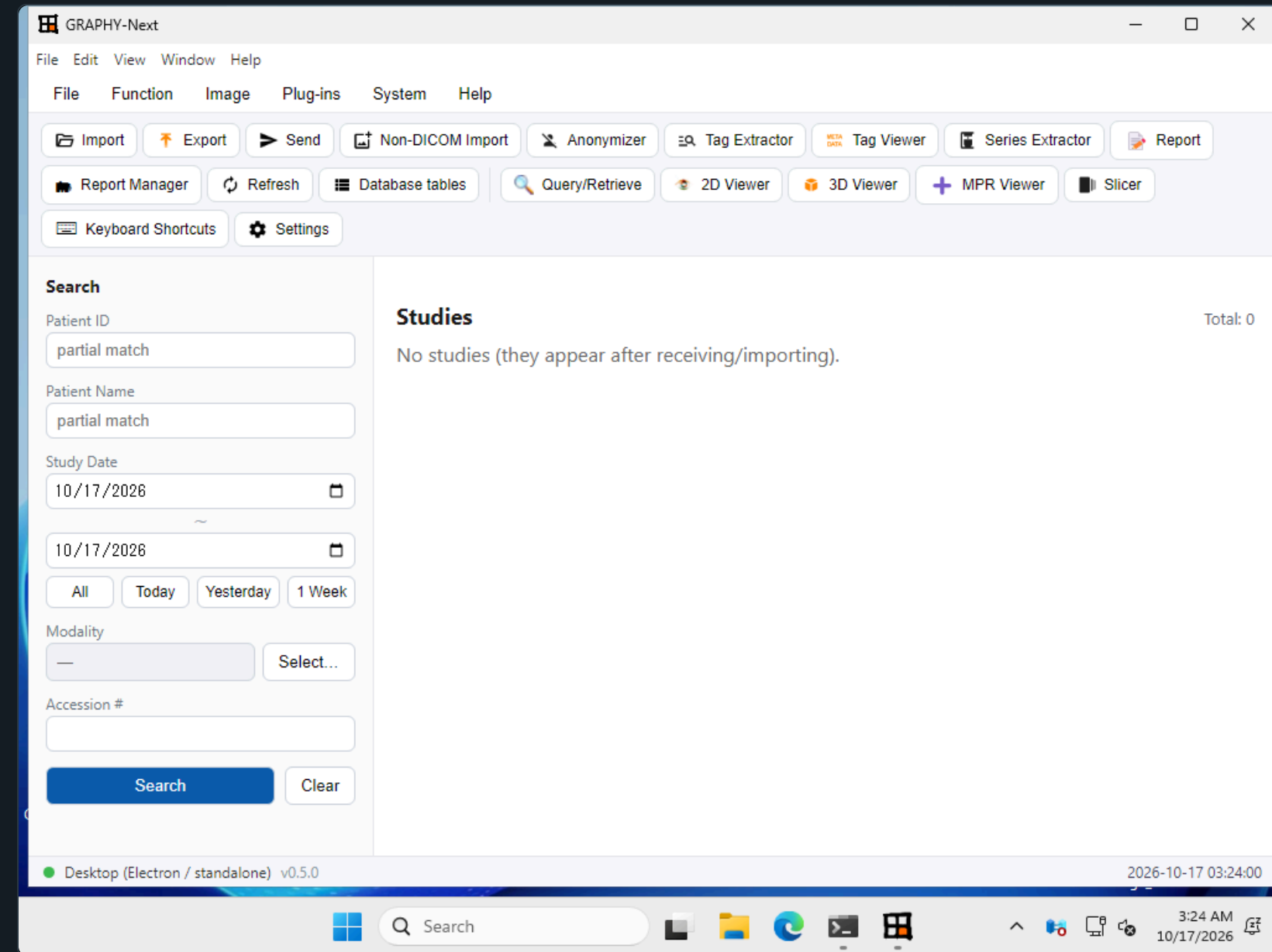


4 インストール先を確かめて、**インストール** (Install)



5 **完了** (Finish) を押すと、GRAPHY-Next が起動します

メイン画面が開けば、インストールは完了です



初回の起動で、検査の保管フォルダとデータベースが作られます。最初は検査の一覧が空です。

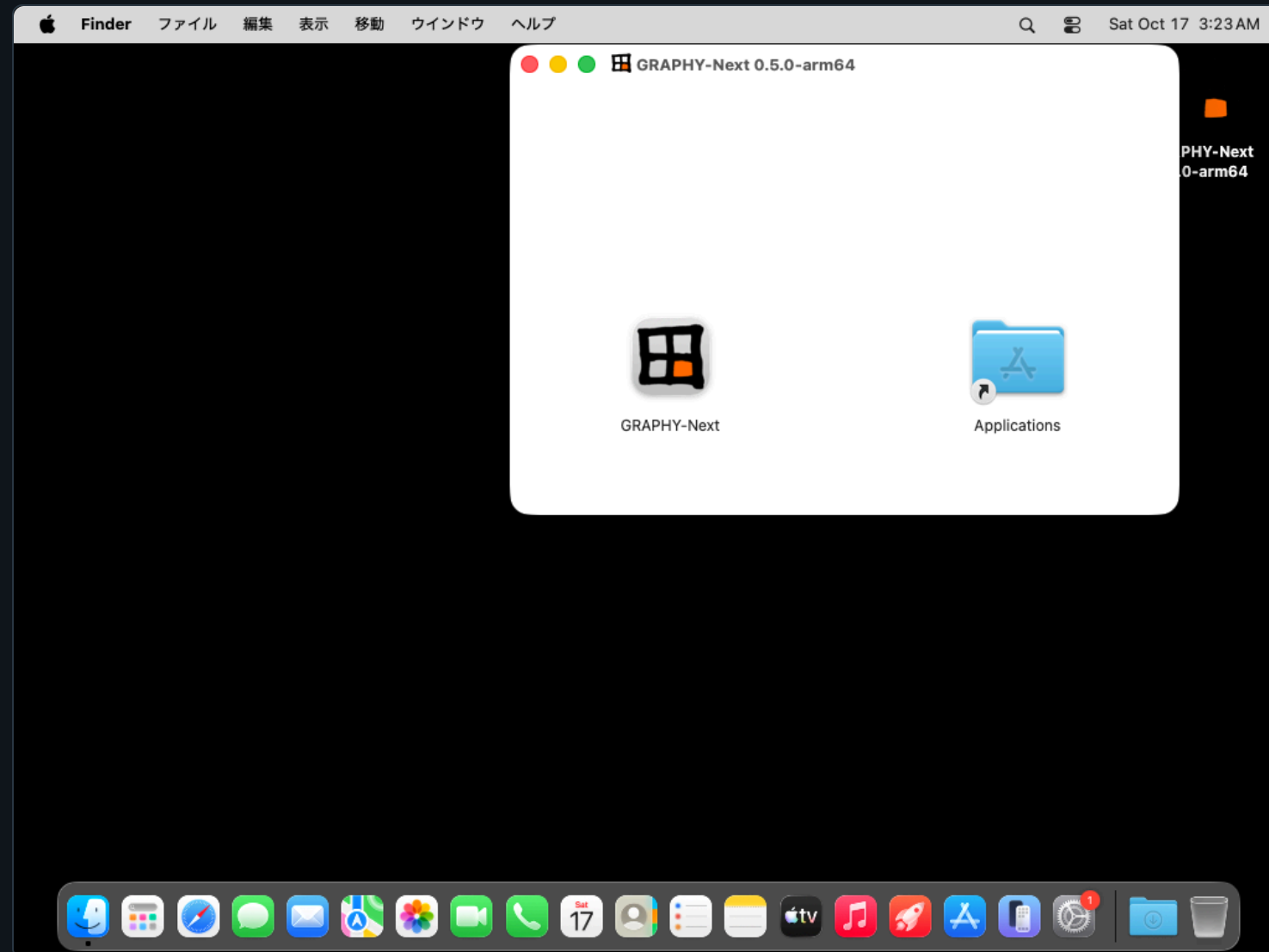
次からは、スタートメニューやデスクトップの **GRAPHY-Next** から起動します。

画面の下の左に、起動している版（例: v0.5.0）が出ます。

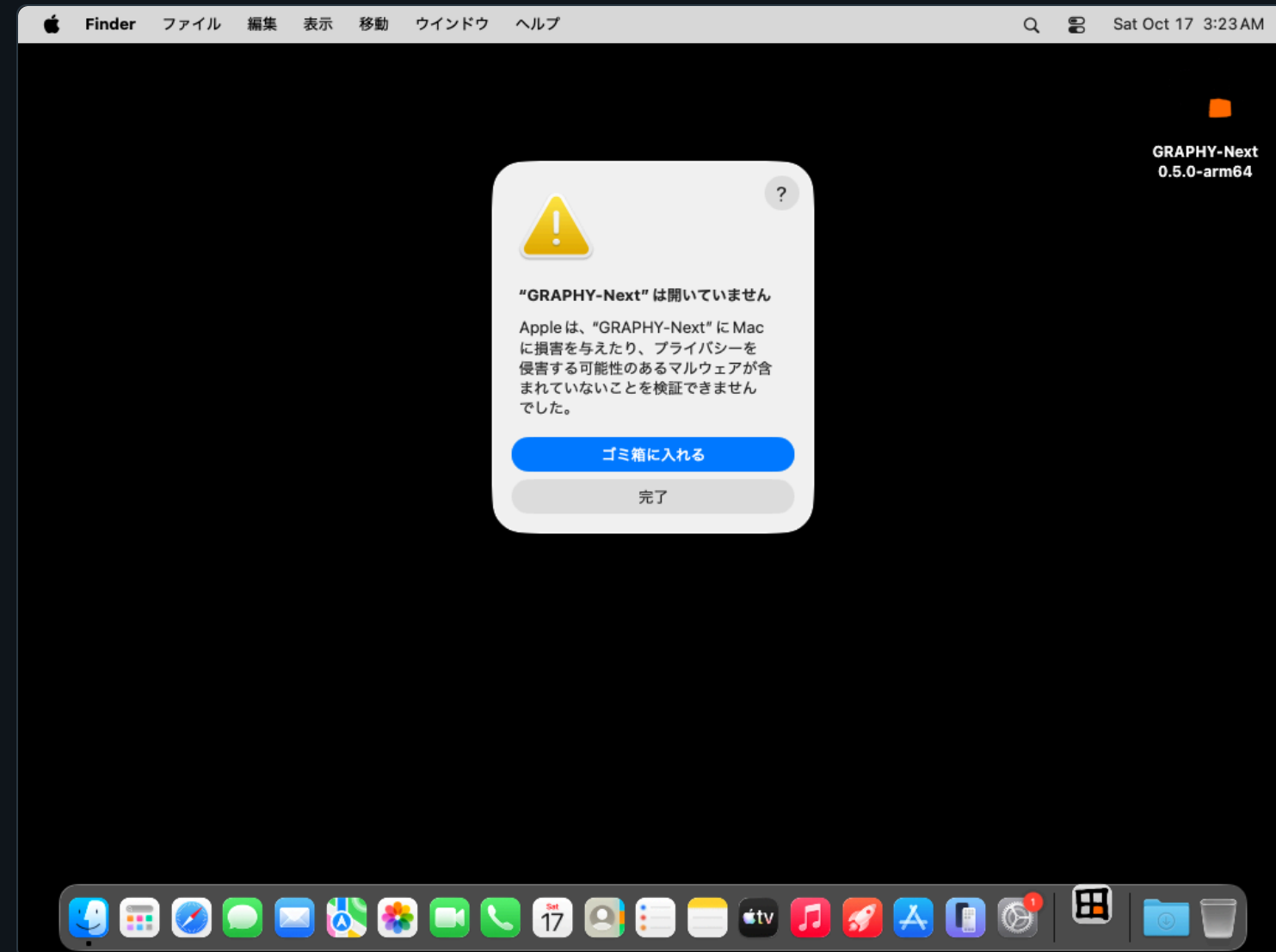
画面の言語（日本語・英語）は、起動後に設定の「言語」で変更られます。

MAC 1 / dmg と最初の警告

Applications へ入れて開くと、「開いていません」と出ます



1 dmg を開き、GRAPHY-Next を Applications へドラッグします



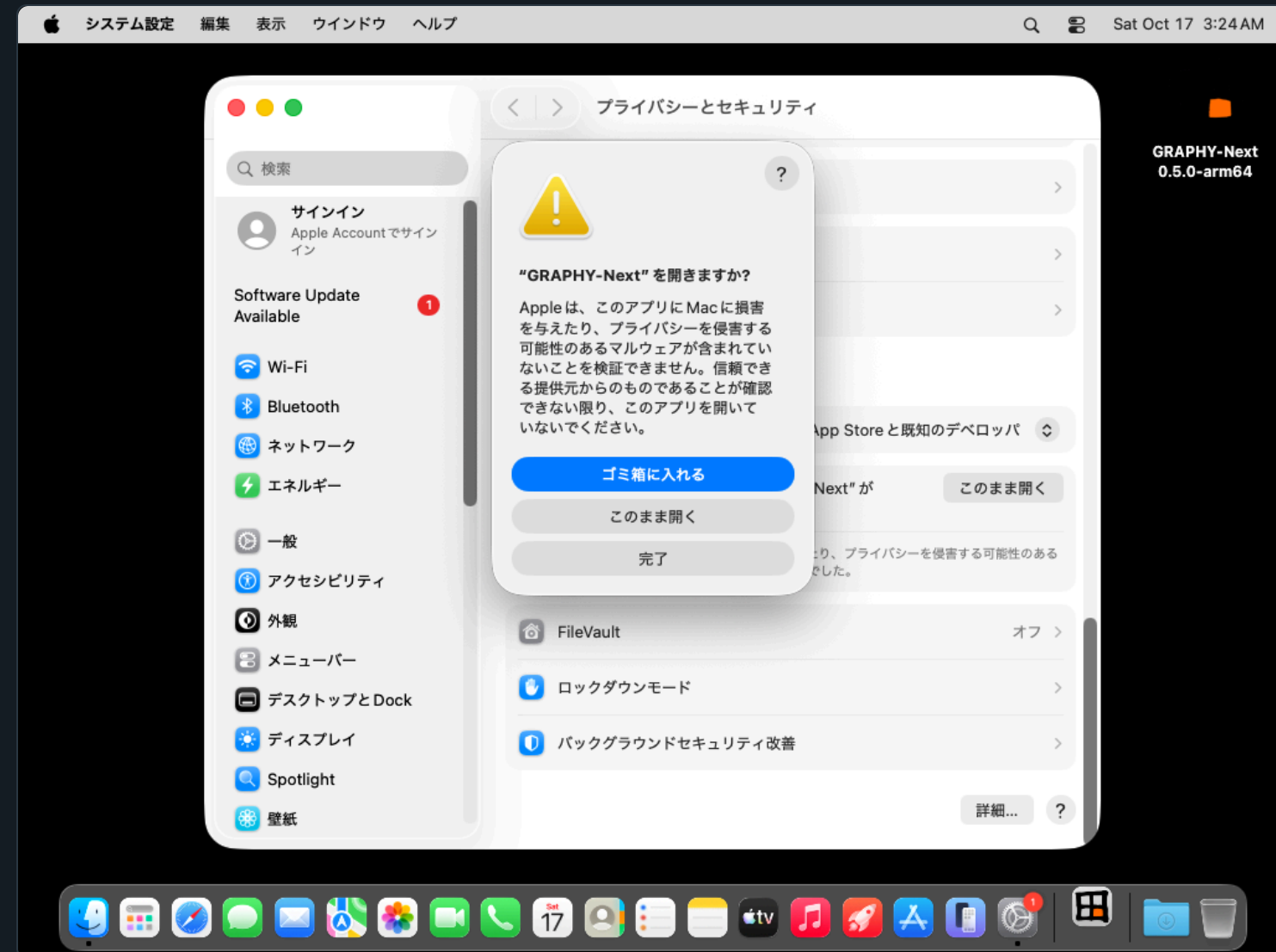
2 Applications から開くと出ます。完了を押して閉じます。ゴミ箱に入れるは押さないでください

MAC 2 / システム設定 > プライバシーとセキュリティ

「このまま開く」を2回押します



3 システム設定 > プライバシーとセキュリティ を開き、下の方の「セキュリティ」にある **このまま開く** を押します



4 確認が出たら、もう一度 **このまま開く** を押します

Mac のユーザ名とパスワードを入れて、OK

- 5 Mac の管理者のユーザ名とパスワードを入れて **OK** を押すと、GRAPHY-Next が開きます

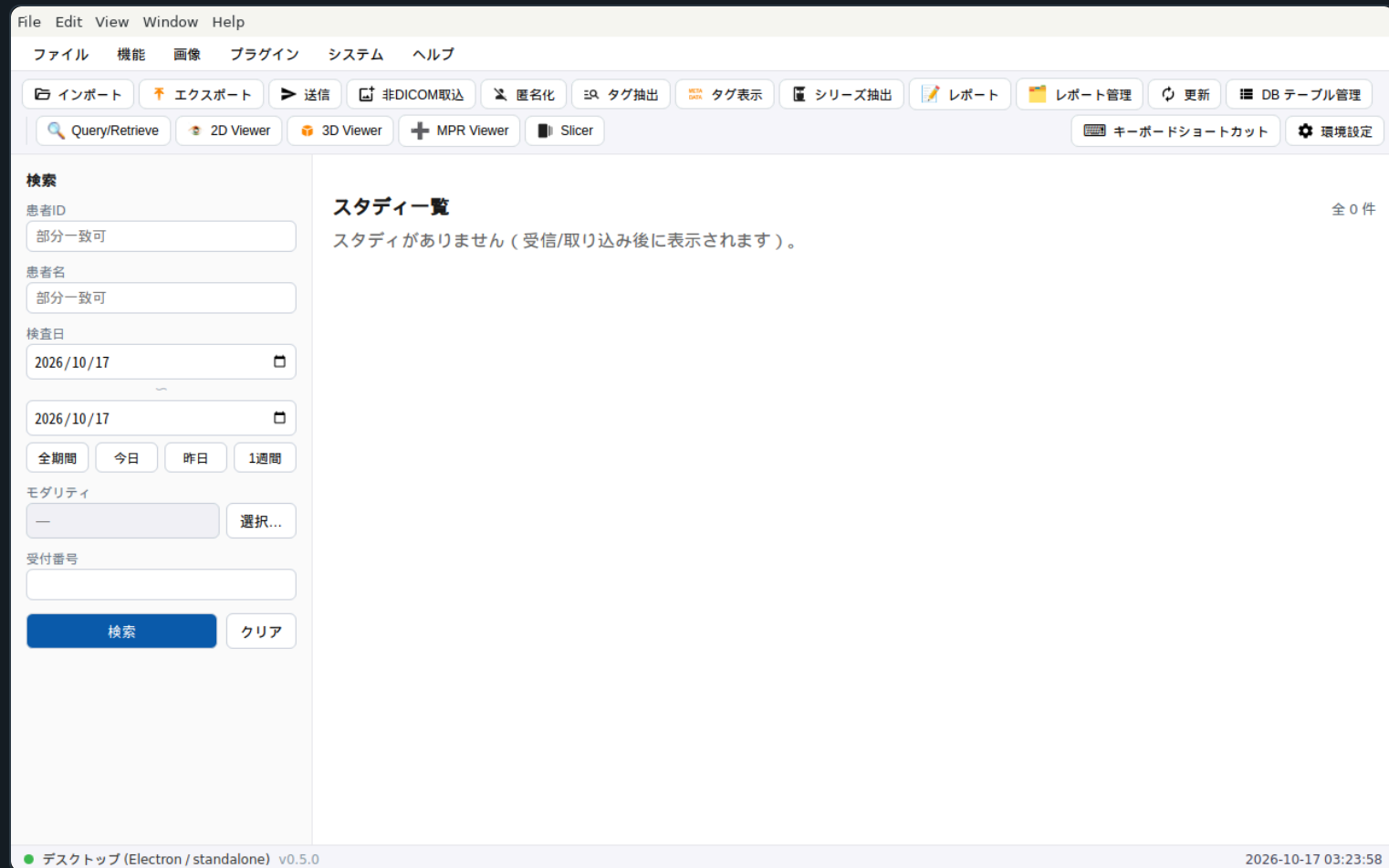
Apple の手順では、この確認は初回だけです。次からは Applications や Launchpad から普通に開けます。

ここで入れるのは Mac のログインのパスワードです。GRAPHY-Next や Apple のアカウントのパスワードではありません。

この画面より先は、撮影の環境の都合で撮っていません。起動後のメイン画面は、Windows（4 ページ）と同じです。



.deb を apt で入れて、起動する



```
sudo apt install ./graphy-next-desktop_<版>_amd64.deb
graphy-next-desktop # アプリー覧からも起動できます
```

apt が、要るライブラリと、Ubuntu 24.04 以降で動くための設定 (AppArmor) を一緒に入れます。

Applmage について

Ubuntu 22.04 以降では、そのまま実行すると止まることがあります。
libfuse.so.2 のエラーは `sudo apt install libfuse2t64` (22.04 は libfuse2) で直ります。SUID sandbox のエラーが出たら、.deb を使ってください。

入れたあとに

データの置き場所・更新・アンインストール

項目	内容
データの置き場所	検査の画像・データベース・プラグインは、インストール先ではなくユーザーごとの領域に作ります。 Windows %APPDATA%\GRAPHY-Next / Mac ~/Library/Application Support/GRAPHY-Next / Linux ~/.config/GRAPHY-Next
更新	起動時に新しい版を確かめ、あれば知らせます（ Help > 更新を確認 でも確かめられます）。新しいインストーラをそのまま上から入れます。データは残ります
アンインストール	Help > アンインストール に、OS ごとの手順が出ます。データは既定で残し、消すかどうかは確認のうえ選べます Windows: 設定 > アプリ > GRAPHY-Next > アンインストール / Mac: GRAPHY-Next.app をゴミ箱へ / Linux: sudo apt remove graphy-next-desktop

最新のインストール手順は、オンラインのマニュアルにもあります: tatsunidas.github.io/GRAPHY-Next/install/